

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー

春山、水内、荒川、加藤、安斎、佐藤智子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	4人	1人	0人	6人

前回の改善計画

送迎や訪問時の家族対応を含めた日常的な報告・情報共有を徹底し、職員全体で連携・確認体制を強化することで、円滑なコミュニケーションと信頼関係の構築、ならびに的確なフォローアップの実施を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

送迎や訪問時には温かく丁寧なコミュニケーションが図られ、ご家族との信頼関係が着実に深まっている。情報共有についても、定期的なミーティングを通じて職員間の連携が強化され、チーム全体で協力しながら、より質の高いケア環境が実現できている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	3	1	0	6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	4	1	0	6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	3	1	0	6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	3	1	0	6

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・通所に抵抗が見られる際には、無理のない関わりを重視し、訪問対応へ柔軟に切り替えるなど、個別に配慮した支援を実施している。
- ・職員間での情報共有体制がより強化されており、連携した支援が日常的に行われている。
- ・利用者一人ひとりに丁寧に声をかけながら、その時々や状態や希望に応じたケアを心がけ、個別性のある対応に努めている。
- ・送迎時にはご家族と積極的にコミュニケーションを図り、日々の報告や相談を通じて信頼関係を深め、支援の質の向上につなげている。
- ・必要とされる支援は適切に提供されており、安心してサービスを利用いただける体制が整っている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・一部の職員に業務の偏りが見られ、チーム内でのフォロー体制に課題が残る場面があった。
- ・職員体制が不十分な場面では、利用者一人ひとりへの関わりが行き届かないケースが見受けられた。
- ・新規利用者への関わり方について、職員間で対応のばらつきがあり、継続的な支援方針の共有が求められる。

次回までの具体的な改善計画

（200字以内）

業務の偏りや対応のばらつきを是正するため、日々の申し送りやミーティングでフォロー体制を強化し、新規利用者対応の統一や職員配置の見直しを行うことで、全利用者に対して安定した支援が提供できる体制を整えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 9 日 (13 : 00～14 : 00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	春山、水内、荒川、加藤、安斎、佐藤智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	4 人	2 人	0 人	6 人

前回の改善計画	新規ご利用者に関する情報は速やかに発信・共有し、適切な対応が行えるよう努める。また、情報共有後の振り返りも実施し、職員全体でニーズや目標を共有したうえで、共通認識のもと統一されたケアや声かけを行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規ご利用者に関する情報共有は進められており、申し送りや日誌を通じて一定の連携は図られているが、タイミングや内容にばらつきが見られる場面もあり、さらなる共有の徹底が求められる。声かけやケアの統一についても徐々に意識され始めているが、職員間での認識の差が見られるため、今後も継続した振り返りと確認が必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	0	3	3	0	6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	4	2	0	6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	3	3	0	6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	3	3	0	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の小さな変化にも気づけるよう意識を高め、声かけや対応をその都度調整しながら、丁寧なケアを実践している。 ・研修や日々の学びを通して得た知識を現場に持ち帰り、チーム内で共有するなど、認知症ケアの質向上につなげている。 ・これまでの関わりや利用者の反応を踏まえ、毎回のケアに工夫を取り入れながら、その人らしさを大切にした対応を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・カンファレンスやミーティングの開催頻度が少なく、現場での課題を整理・共有し、改善策を検討する機会が十分に確保されていない。 ・日々の取り組みに対する振り返りが不十分で、過去の対応やその成果に関する評価が曖昧になっている。 ・ケアマネジャーとの連携面に課題があり、情報共有や支援方針の擦り合わせが不十分のまま支援にあたっている場面が見受けられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
定期的なカンファレンスやミーティングを計画的に実施し、現場の課題整理と改善策の検討を進めるとともに、日々の取り組みの振り返りを習慣化し、ケアマネジャーとの情報共有体制の強化を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 9 日 (13 : 00～14 : 00)
3. 日常生活の支援	メンバー	春山、水内、荒川、加藤、安斎、佐藤智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	4 人	2 人	0 人	6 人

前回の改善計画	管理者・ケアマネージャー・主任が率先して利用者の生活歴や背景を丁寧に把握し、その情報を職員全体で共有することで、利用者理解を深め、より質の高い個別支援の実現を目指していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	管理者・ケアマネージャー・主任が中心となって利用者の生活歴や背景の把握に取り組み、初回面談時やミーティングを通じて得られた情報を職員間で共有する機会が増えてきた。全体的な支援の方向性が明確になり、個別対応の質向上にもつながりつつあるが、引き続き情報の更新や共有の継続が課題として残っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	3	3	0	6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	3	0	0	6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	4	0	0	6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	3	0	0	6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	4	0	0	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・生活の質の向上に向けて、日々のケアの中で気づいたことをもとに、ミーティングでは本人やご家族、関係職員と一緒に具体的な支援内容をすり合わせながら話し合いができています。 ・利用者の体調や気分の変化、ケアの進み具合などをこまめに共有・申し送りすることで、職員同士が連携しやすくなり、支援のズレが少なくなってきた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々の支援に追われる中で、利用者のこれまでの暮らしや価値観にじっくり向き合う時間が取りづらく、個別性のある対応に課題が残っている。 ・支援方針をチーム全体で共有する場が少なく、判断や対応にばらつきが出る場面が見られる。 ・ご自宅での生活状況や家族の思いなどを十分に把握できておらず、支援内容とのズレが生じることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
次回までに、利用者の生活歴や価値観を深く理解するための聞き取りや記録の充実を図るとともに、カンファレンスや情報共有の機会を定期的に設け、チーム全体で支援方針をすり合わせながら、個別性のある対応を強化していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 9 日 (13 : 00～14 : 00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	春山、水内、荒川、加藤、安斎、佐藤智子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	4 人	2 人	0 人	6 人

前回の改善計画	アセスメントにて得た利用者のこれまでの生活に関する情報を、職員全体に共有し、その生活を維持または回復させるための具体的な目標に向けて取り組む。地域資源をしっかりと有効活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	一部の方々は、ニーズに基づいた効果的な支援プランを構築できている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	3	2	0	6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	3	1	0	6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	4	2	0	6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	2	2	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の過去の暮らしや習慣に丁寧に耳を傾けることで、その人らしさを尊重した支援が実践できている。 ・状況や体調の変化に応じて、訪問サービスを柔軟に取り入れながら、タイミングを逃さず適切な対応が行われている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍の影響で地域交流の機会が長らく制限されていたこともあり、活動再開に向けた取り組みが十分に進まず、関わりが希薄になっている。 ・地域とのつながりが一時的に途絶えてしまったままの状態が続いており、今後は意識的にコミュニケーションを図る必要がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域資源を有効に活用し、訪問サービスを適切に組み込んだ支援プランを作成する。アセスメントを通じて得た利用者の生活歴や価値観については職員全体で共有し、これまでの生活を維持・回復することを目指して、具体的な目標に基づいた支援に取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 9 日 (13 : 00～14 : 00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	春山、水内、荒川、加藤、安斎、佐藤智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	4 人	0 人	6 人

前回の改善計画	積極的かつ柔軟なサービス支援は実施できているものの、担当者会議録の共有や日々の記録入力を確実に 行えるよう、体制の強化が求められている。
前回の改善計画に対する取組み結果	柔軟なサービス提供は継続して実施できしており、個別のニーズに応じた対応も定着しつつある。一方で、 担当者会議録の閲覧や記録入力については一部で実施状況にばらつきが見られ、体制強化に向けた仕組み づくりは今後の課題として残っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地 域の資源を使って支援していますか?	0	2	3	1	6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥 当適切に提供されていますか?	3	3	0	0	6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に 気づき、ミーティング等で共有することが できていますか?	1	4	1	0	6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わ せて柔軟な支援ができていますか?	4	2	0	0	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者との日々の対話を通じて、その時々ニーズや気持ちを把握し、きめ細やかな対応ができている。 ・通い・訪問介護・訪問看護・宿泊といった多様なサービスを利用者やご家族の状況に応じて適切に組み 合わせ、柔軟かつ実用的な支援を提供できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ケアマネジャーとの日常的な連携がやや希薄であり、支援方針や訪問時の情報が十分に現場へ伝わっ ていない状況がある。 ・サービス担当者会議への参加が一部職員に偏っており、会議内容の共有や全体での支援のすり合わせが 不十分なまま進んでしまうケースが見受けられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ケアマネジャーとの日常的な連携を強化するとともに、サービス担当者会議への出席体制を見直し、会 議内容の要点を職員間で確実に共有できる仕組みを整えていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 9 日 (13 : 00～14 : 00)
6. 連携・協働	メンバー	春山、水内、荒川、加藤、安斎、佐藤智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	3 人	2 人	1 人	6 人

前回の改善計画	コロナ対策を講じたうえで地域向けイベントを開催し、事業所を地域に開かれた場として積極的に展開していく方針を進めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染対策を踏まえたイベントの実施に向けて一部取り組みは始まっているものの、地域との交流機会は依然として限られており、事業所を開かれた場として展開していくには、今後さらに具体的な取り組みが求められる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか？	0	1	3	2	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	2	3	6
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか？	0	1	2	3	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	3	3	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
系列事業所が開催したイベントに参加し、自事業所の取り組みや特色をアピールする機会を持つことができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
外部機関との連携やイベントへの積極的な参加を推進しているが、地域との関わりがまだ難しい状況が続いている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
参加可能な地域イベントや外部機関との交流機会を見直し、無理のない範囲で関係性の再構築を図るとともに、情報発信や見学対応などを通じて、地域とのつながりを少しずつ取り戻していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 9 日 (13 : 00～14 : 00)
7. 運営	メンバー	春山、水内、荒川、加藤、安斎、佐藤智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	3 人	3 人	0 人	6 人

前回の改善計画	運営推進会議が中止となった場合でも、電話等を活用して地域の情報を継続的に収集していく。また、地域の声が届きやすい施設づくりを意識し、交流の機会を増やすための取り組みも引き続き進めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	意見交換や交流の機会は限られており、地域の声を取り入れる体制づくりや関係構築については、引き続き課題が残る状況である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	3	3	0	6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	3	2	0	6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	2	2	2	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0	1	5	0	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご家族からのご要望や不安の声に対して丁寧に耳を傾け、内容を的確に把握したうえで、可能な限りケア内容に反映できるよう努めている。実際のケア場面でも、ご家族の意向を踏まえた個別対応が行われており、信頼関係の構築にもつながっている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 家族主体での運営推進会議が続いていたことや、コロナ禍以降の影響により参加者の集まりが悪く、地域住民を含めた意見交換の場として十分に機能していない月が続いた。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域住民や関係者が参加しやすい形での運営推進会議の開催方法を見直し、案内の工夫や日程調整を行いながら、家族以外の意見も取り入れられる場づくりを進めていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 9 日 (13 : 00～14 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	春山、水内、荒川、加藤、安斎、佐藤智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	3 人	2 人	0 人	6 人

前回の改善計画	法定研修（虐待や不適切ケアに関する内容）は必ず実施し、確実に継続して取り組んでいく。また、ミーティングの時間を活用し、関連資料の配布や閲覧を行うことで、職員全体の理解促進と意識向上を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	法定研修については計画通り実施され、虐待や不適切ケアに対する基本的な理解は職員間で共有されている。ミーティング時の資料配布や掲示も行われているが、内容の浸透にはまだばらつきがあり、今後は理解度の確認や意見交換の機会を増やすことが課題となっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	0	3	3	0	6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	1	5	0	6
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	1	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	1	0	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員一人ひとりが学ぶ姿勢を持ち、外部研修などで得た知識を事業所内で共有し、現場の気づきや改善につなげる動きが定着しつつある。 ・リスクに関する情報についても、委員会の内容をもとにわかりやすく伝達し、全体で注意喚起や再確認を行う仕組みが継続されている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会への参加ができておらず、外部との情報交換や関係づくりの機会が不足している。 ・所内研修の開催に向けた時間の確保が難しく、職員全体での学びや意識統一が十分に行えていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域連絡会への参加を優先的に調整し外部との連携を図るとともに、所内研修についても短時間でも実施できるようスケジュールを工夫し、継続的な学びの機会を確保していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 6 年 10 月 9 日 (13 : 00～14 : 00)
-----	-------------------------------------

9. 人権・プライバシー

メンバー	春山、水内、荒川、加藤、安斎、佐藤智子
------	---------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	2 人	0 人	0 人	6 人

前回の改善計画	認知症ケアにおいて、声の大きさや接し方、態度に配慮できるよう、職員同士で意識を高め合える職場づくりを進めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	声のトーンや態度に対する意識づけを日々の声かけやミーティングの中で行っており、職員同士で気づきを共有する場面も見られるようになってきた。ただし、対応にばらつきがある場面もあり、引き続き意識の統一と実践の継続が求められている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	3	3	0	0	6
②	虐待は行われていない	4	2	0	0	6
③	プライバシーが守られている	2	4	0	0	6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	1	0	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	4	1	0	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待行為については職員全体で禁止の意識が共有されており、日々の支援の中でも適切な関わりが徹底されている。 ・利用者の人権やプライバシーの尊重についても日常的に確認が行われており、安心して過ごせる環境づくりに努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・支援の流れや環境によって、利用者のプライバシーへの配慮が行き届かない場面が一部見受けられ、安心して過ごせる空間づくりに課題が残っている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
支援場面や環境におけるプライバシーの確保に向けて職員間で意識を再確認し、声かけの仕方や空間の使い方を見直すことで、利用者が安心して過ごせる環境づくりを徹底していく。	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	3		2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	3		2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	2		3

【上記 4 つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・スタッフ同士が連携し、支え合いながら丁寧に対応している様子が伝わってきた。
- ・自己評価を通じて日々の業務を振り返る機会となり、改善に向けた取り組みがスムーズに行われているように感じた。
- ・日々の業務をしっかりと見直し、前向きに改善を図ろうとされている点が印象的だった。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・職員間のコミュニケーションの重要性をしっかりと理解されている様子が伺えた。
- ・その意識をもとに、日々の業務の中でも実際に行動に移されている点が印象的だった。

【今回の 9 つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・各項目について具体的に検討されている様子がうかがえる。
- ・計画自体は明確であるが、その実行状況については評価が難しい。
- ・今後は取り組みの成果や進捗もあわせて示されると、より説得力が増すと考えられる。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・利用開始間もないため、サービス評価に関する説明をまだ受けておらず、実施の頻度や内容が不明である。
- ・現時点での評価について具体的に述べることは難しい状況である。
- ・日々の自分自身の関わりを振り返る機会としては有意義であり、今後の活用に期待が持てる。

【改善計画】※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	2		3
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3		2
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？		4	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・施設内部に立ち入ったことはないが、外観からは開放的で明るい印象を受ける。
- ・施設内の様子は活気があり、穏やかで温かみのある雰囲気が感じられた。
- ・職員と利用者のやりとりにも温かさがあり、安心感のある環境づくりがなされていると感じる。
- ・地域に開かれた姿勢は感じられるが、マンションタイプの建物ゆえに、初めて訪れる際にはやや入りづらさもある。

【前回の改善計画】

閉じられた事業所ではなく、引き続き開かれた雰囲気を目指していく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・感染対策については一定の配慮を継続しているものの、状況に応じて柔軟に対応を見直しながら、可能な範囲で出入りのしやすさや交流の機会を広げていきたいと考えている。今後も段階的な改善を重ね、より開かれた環境づくりに努めていく。

【今回の改善計画】※後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		2
1	職員はあいさつできていますか？	5		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・予定の変更にも柔軟にご対応いただき、小規模多機能型ならではの手厚さと利便性の高さを日々実感している。
- ・こちらの要望にも親身になって応じてくださり、安心してお願いできる体制に感謝している。
- ・コロナ禍により地域との交流機会は限られていたが、対面でお会いできた際には丁寧なご挨拶と情報交換があり、その一つ一つの機会をととても大切に感じている。
- ・一時的に管理者への電話がつながりにくい場面があったが、その他の職員の方々が丁寧に対応してくださることで、不安は大きくならずに済んだ。
- ・送迎時には利用者の様子や当日の出来事など、さりげなく声をかけて共有してくださり、安心感と信頼感につながっている。

【前回の改善計画】

イベントや地域行事などを開催した際に、外部からのアンケートを実施し、皆さんの意見を積極的に収集していく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

季節の行事や地域清掃、子どもたちとの交流イベントなど、無理のない範囲で地域との接点を増やしていけるとよい。

【改善計画】※後日記入

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		3
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？		2	3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域とのふれあいや交流は、利用者にとって日常に楽しみや刺激をもたらす大切な機会であり、今後はより多くの地域イベントへ参加できるような工夫が求められる。
- ・近隣の方々との挨拶やちょっとした会話が継続的に行われていると聞き、それが地域に根ざした施設としての安心感につながっていると感じている。

【前回の改善計画】

地域の様々な資源を集め、ご本人の以前の生活状況を理解し、それに適したサポートを提供していく。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	2		3
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3		2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	1		4
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	2		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

特になし

【前回の改善計画】

運営推進会議をしっかりと実施していく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		3
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	1	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2	1	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		4	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】 特になし
【前回の改善計画】 事業所の防災計画を地域の包括支援センターと町会に提出し、防災・消防訓練への協力や参加を促進を図る
【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】
【改善計画】※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 奉優会	代表者	香取寛	法人・ 事業所 の特徴	ご利用者の皆様一人一人の生活を大切にし、「ゆっくり・一緒に・楽しく」をモットーに、住み慣れたご自宅や地域で安心して日々をお過ごしいただけるよう、顔なじみの職員が 24 時間 365 日、お手伝いさせていただきます。
事業所名	優っとり小規模 多機能介護乃木坂	管理者	春山瑞穂		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	1 人	1 人	1 人	4 人	人	7 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の実施を早めに開始し、改善計画などを全職員で共有できるように努力する	全職員が参加する形での振り返りは叶わず、限られた参加者による意見交換にとどまった。	自己評価の導入により職員一人ひとりの意識が高まり、改善への取り組みがより実効性を伴って進められ、良い成果につながっていると感じている。	自己評価を早期に実施し、改善計画を全職員で共有できる体制づくりに取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	ハード面での環境を見直していく。	日々の取り組みの中で、居室やフロアの環境整備が着実に進んでいることを実感している。	施設全体に温かくアットホームな雰囲気があり、「優っとり村」らしさが自然と表れている点がとても印象的である。	居室や共有スペースなど、施設内の環境を段階的に見直し、より快適な空間を整備する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域イベントにも積極的に参加していく。	外部からの意見収集は実施できなかったものの、今後はより開かれた事業所運営を目指していきたい。	お会いできる機会にはいつも丁寧なご挨拶や情報交換をしていただき、関係性が築かれていることを実感している。	地域行事やイベントへの参加を積極的に進め、地域とのつながりを深めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご本人の以前の暮らしの把握とそれに伴った支援を実施していく。	感染症の影響により、地域イベントの企画や参加を積極的に進めることが難しい状況が続いた。	職員の皆さまの通常業務もある中で、無理のない範囲での地域交流や参加が継続されていることに敬意を表したい。	ご本人の生活歴をふまえた個別支援を丁寧に行い、寄り添ったケアを実現する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議のご家族や地域の参加率が上がるよう努めていく。	地域行事の開催を予定していたが、感染拡大の影響を受け、中止せざるを得ないケースもあった。	地域と連携しながら様々なプロジェクトに参加することで、より広がりのある活動につながることを期待している。	運営推進会議には、地域やご家族の参加が促進されるよう工夫を重ねていく。
F. 事業所の防災・災害対策	施設内防災・消防訓練は今後も実施してく。	地域と連携した防災訓練は実現しなかったが、施設内での訓練は継続的に実施し、安全意識の向上に努めている。	災害発生時などには、地域と連携した支援体制が築かれていくことが望ましく、日頃からのつながりがその土台になると考えている。	防災・消防訓練は継続して実施し、災害時の備えと意識の向上を図る。

